

2024年3月25日

各位

会社名 株式会社グローバルダイニング
代表者名 代表取締役社長 長谷川 耕造
(コード番号 7625 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 最高財務責任者 中尾 慎太郎
TEL. 050-5444-9868

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2023年3月27日に、「スタンダード市場の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。

2023年12月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社のスタンダード市場の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年12月31日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め、以下のとおりとなっております。2022年12月31日時点においては「流通株式比率」「流通株式時価総額」について基準を充たしておりませんでした。上場維持基準の適合に向けた計画を進行させた結果、2023年12月31日時点において「流通株式時価総額」については12億円と基準を充たすこととなりました。「流通株式比率」に関しては、引き続き2024年12月末までに上場基準適合に向けた取り組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況 及びその推移	2022年12月末 基準日時点	3,396人	24,850単位	7.9億円	23.9%
	2023年12月末 基準日時点	3,130人	25,198単位	12.1億円	24.2%
上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25%
2023年12月末時点の適合状況		適合	適合	適合	未適合
計画期間					2024年12月末

(注) 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価（2023年1月～2023年12月）

（1）流通株式比率について

創業者で代表取締役社長である長谷川耕造及び同氏の資産管理会社等を合わせた当社株式の所有株式数が2022年12月末時点において74%超でありましたため、当社はこれら大株主と所有株式数の一部放出について話し合いをすすめた結果、2023年11月7日付公表の「支配株主の株式等の売買委託契約締結に関するお知らせ」に記載のとおり、当社代表取締役 長谷川耕造より、同氏が所有する30万株（当社発行済株式総数の2.89%）を売却していくこととなりました。過去の出来高等を勘案した上で、一日の取引高の制限を設定する等、できるだけ市場に影響を与えないような条件にて売却を進めるため、売却期間は約1年（2023年11月8日～2024年11月1日まで）となっており、30万株すべてを売却できれば上場維持基準に適合する見通しですが、2023年12月末時点における流通株式比率は23.9%から24.2%への改善に留まっております。

（2）流通株式時価総額について

流通株式時価総額が基準を充たしていない背景には、流通株式数の少なさと業績の不安定さによるものと考え、上記（1）の取り組みを進めると同時に、国内の人流回復とインバウンド需要の増加といった好機を捉えた営業活動を着実に進めることによって、2023年12月期連結業績は3期連続の黒字を達成し、親会社株主に帰属する当期純利益については前連結会計年度から280.9%の増益を実現いたしました。

株主や投資家の皆様へ、この着実な歩みにご注目いただくこと、より深く当社を理解いただくことを目的として、月次売上速報の適時開示の開始、決算説明会資料の改良、当社IRサイトの改修と情報開示の充実を図ってまいりました。その結果、業績向上を評価いただき株価が上昇したことから、2023年12月末時点において「流通株式時価総額」は12億円と上場維持基準に適合いたしました。

3. 上場維持基準に適合していない項目のこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

（1）流通株式比率について

2.（1）にて記載のとおり、当社代表取締役 長谷川耕造が所有する30万株（当社発行済株式総数の2.89%）を約1年（2023年11月8日～2024年11月1日まで）かけて売却していくことを発表しておりますが、同氏より、2024年2月9日時点において株券等保有割合が1%以上減少したとの大量保有報告書が提出され、売却開始から約3か月間、順調に売却が進んでいることが判明しております。

当社としては、2024年11月1日までに残りの株式の売却が順調に進むよう、2024年12月期の業績計画の達成に邁進するとともに情報開示の充実への取り組みも継続することで、当社株式の魅力を高め、投資家の皆様から投資対象として引き続きご注目いただくことによって、上場維持基準への適合を目指してまいります。

以上